

平成29年度 会派調査研究報告書

(研修先1箇所につき1枚)

会 派 名	日本共産党
事 業 名	地方議会議員研修会2017秋
事 業 区 分	①研究研修 ②調 査

1 上田市での課題と研修・調査の目的

「特区をどうとらえるか」、「子どもの貧困をなくすために、どうするか」、「地方財政の課題と展望」の3つのテーマで研修会が開催されます。どのテーマも全国共通の課題でもありますが、これまで上田市議会で取り上げてきた課題でもあり、参加し学んだことを上田市政に提案など行っていきます。

2 実施概要

実施日時	主 催	一般社団法人 大阪自治体問題研究所
平成29年11月16日 10:00~16:45	会 場	大阪府大阪市浪速区幸町1-2-34 M&Dホール (保険医協同組合会館)

1 実施概要



《参加議員》

渡辺正博議員、久保田由夫議員、古市順子議員、成瀬 拓議員

(1) 講義 1

テーマ: 「特区」をどうとらえるか

講師: 岡田 知弘氏(京都大学教授)



《主な内容》

はじめに

- ① 大災害と経済のグローバル化の下の「格差と貧困」のなかで再び憲法が試金石になってきている。

報
告
内
容

* 視察先の写真等がある場合は添付のこと

② 「国家戦略特区」は、いかなる政治的文脈に登場してきたのか。

2013年6月～2016年1月までの大まかな動き

ア 2014年通常国会会期末にでそろった安倍流「構造改革」のメニューと経団連新体制

① アベノミクスの「第三の矢」（成長戦略）の具体化

② 経団連新体制の発足（2014年6月3日）

御手洗氏から榊原氏へ

イ 2014年に入ってから国内外国籍企業利益集団による政策要求

① 日本経団連の動き

「新しい『エネルギー基本計画』策定に向けた意見」（1月6日）など様々な提言をしてきた。その中で、国家戦略特区等の活用も入っている。

② 米（日）政財界の動き

「TPPに関する共同宣言」（4月21日）など様々な提言をしている。

ウ 「岩盤規制」解体と国家戦略特区

① 成長戦略の一環としての「岩盤規制」の解体

② 国家戦略特区の位置づけ

③ 国家戦略特区の指定（2014年5月1日）

④ 雇用指針を策定（2014年4月1日）

⑤ 「国家戦略特区」の追加指定

⑥ 国家戦略特区の規制改革活用メニューと中間評価

⑦ 特区諮問会議民間5議員「国家戦略特区 今後の進め方について」（17年5月22日）

⑧ 「日本再興戦略2017（仮称）」国家戦略特区関係（案）

エ 「地方創生」と「国家戦略特区」の結合

① 安倍政権による「地方創生」の押し出し

② なぜ、安倍首相や日本経団連は、道州制にこだわるのか

○都道府県を廃止し、10程度の州を設ける⇒浮いた財源をインフラと企業誘致に活用するなどの基本的な考えがある。

③ 第二次安倍政権における政財官「抱合」体制の強化

④ 国家戦略特区の現場で広がる矛盾

オ 安倍流「地方創生」の矛盾の限界

① 「地方創生」政策自体の矛盾

② 「地方創生」政策運用をめぐる地域での矛盾⇒地方自治の実質的破壊につながる

カ 一人ひとりの住民の生活を向上させる地域再生に向けた戦略

① 中央政府レベルでの野放図な国際化、構造改革政策、規制緩和政策の根本的見直し

② グローバル競争に左右されない個性あふれる地域産業と地域社会の再構築

③ 大企業や金融機関、大型店の「まちづくり」への貢献を促す社会制度の確立

④ TPP11、日欧EPA、RCEP、日米FTAへの懸念

○久保田議員が講師に質問して、ご回答をいただきました。

(2) 講義2 テーマ:「子どもの貧困」をなくすために、どうするか

講師: 中田 進氏 (関西勤労者教育協会講師)

《主な内容》

ア 広がる格差と子どもの貧困

- ① 資本主義…利潤最優先。階級矛盾の深まり。
雇用の破壊・・・
- ② 社会保障の解体…保育 (公立削減・私立保育士賃金
11万円低い)

イ 政府の子ども貧困対策

- ① 貧困の再発見
- ② 2009年相対的貧困率の調査まで貧困率の調査なし。
- ③ OECDによる貧困率の国際比較。

ウ そもそも貧困とは

- ① 子どもの貧困の定義
- ② 格差・不平等の緩和は貧困対策の大前提
- ③ 子どもの貧困の現れ方
- ④ 若もの貧困を視野に
- ⑤ 憲法での権利保障
- ⑥ 貧困の現状
- ⑦ 労働市場の変容
- ⑧ 子育て世代への社会保障が低い
- ⑨ 高い学費・教育費・家計負担の多さ
- ⑩ 貧困が引き起こすマイナス影響
- ⑪ 多様にとらえる子どもの貧困
- ⑫ 緊急支援を

エ 地域からつくる子どもの貧困対策

- ① 大阪府・計画と調査
- ② 2017年3月31日調査報告公表。貧困度高い場合
- ③ 各市の状況・・・別紙
- ④ 子ども食堂・学習支援塾・地域ネットワークを
- ⑤ 「子ども貧困問題大阪ネットワーク」・・・2016年調査・連携・交渉
- ⑥ 対政府へ緊急対策・・・給食無償化・とりわけは大阪は
- ⑦ カジノは許せない

オ 貧困対策の基本は政治を変える

○司会者からの指名もあり、渡辺議員が上田市の取り組みについて紹介しました。



(3) 講義3 テーマ：地方財政の課題と展望

講師：森 裕之氏（立命館大学教授）

《主な内容》

- ア 国と地方の歳出規模
- イ 自治体財政の基礎
 - ・財政の全体からみた地方財政
- ウ 国と地方の行政事務分担
- エ 国・地方間の財源配分
- オ 地方歳入項目
- カ 地方財政の仕組み（地方歳入決算の内訳）
- キ これから地方財政はどうか
- ク 地方財政制度改革の中期方針
- ケ 地方創生の戦略構造
- コ 国の「長期ビジョン」と「総合戦略」の全体像
- サ まち・ひと・しごと創生基本方針2017
- シ 大阪府の人口変化予測
- ス 大阪府の人口構成変化
- セ 医療介護需要予測指数
- ソ 調整戦略（2017）
- タ 骨太方針2017（2017年6月）
- チ まち・ひと・しごと創生事業費の算定
- ツ 2017年度地方財政計画の主な歳出措置
- テ 交付税措置の仕組み
- ト 2108年度予算の概算要求基本方針
- ナ 2018年予算の概算要求
- ニ 財政論議のポイント
- ヌ 財政健全化と地方財政計画
- ネ 会計年度任用職員の財政影響
- ノ トップランナー方式
- ハ 論議のポイント

- ① 地方財政抑制による財政再建基調は強まる
 - ➡歳出コントロールは適正に行われているか？
- ② 地方財政政策の方向性は「地方創生」への重点化が強まっている。
 - ➡地方創生への取り組みは十分か？
- ③ エビデンス重視の財政運営が重視されている。
 - ➡自治体財政政策の効果予測・検証がきちんとなされているか？

※エビデンス（確かな根拠に基づく政策立案）＝証拠を示すこと。



報
告
内
容

ヒ 今後の地方財政運営のあり方

フ 明石市の概要

- ① 明石市の創造的財政運営
- ② 明石市の子育て施策
- ③ 明石市の出生数の増加
- ④ 明石市の人口増
- ⑤ あかし版こども食堂
- ⑥ 明石市の財政運営の特徴

ヘ 飯田市のワイズ・スペンディング

- ① 飯田市における「大きな自治」
- ② 環境経済自治モデル都市としての取り組み
- ③ 新しいLED防犯灯の完成
- ④ 地元産業の展開

※ワイズ・スペンディング⇒賢い支出

ホ 議論のポイント

- ① 政府の動きと自治体の財政制度との関係はどうなっているかをチェックする。
- ② 地方創生への誘導をうまく利用する
- ③ 地域ビジョンに基づいた自治体政策（産業、コミュニティ、文化など）を展開する。
- ④ エビデンスに基づく取り組みを心掛ける。
- ⑤ 地元の企業や地域団体の社会経済力を引き出す施策を適切に取り入れている。（ワイズペンディング）。
- ⑥ 公共施設の再編問題（PPP/PFIを含む）への対応

2 まとめ（上田市政に活かせる課題等）

(1) 第1講義の岡田知弘さんの「『特区』をどうとらえるか」に関しては、講師への質問もしましたが次の点が参考になります。

ア 地方創生と「国家戦略特区」は同じ路線であること。

イ 地方創生は、全国の自治体で取り組まれた事業だが、その自治体にとって活用できる財源や施策は大いに活用すること。

ウ 「国家戦略特区」のねらいは、グローバル競争に打ち勝つ社会経済体制であり、これは一部の世界的な大企業がもうかる仕組みであるが、地方自治体の「再生」にはならないこと。これを踏まえて「地方創生」および「特区」対応をしていく必要があります。

(2) 第2講義の中田進さんの「『子どもの貧困』をなくすために、どうするか」に関しては、次の点が参考になりました。

ア これまで、子どもの貧困について研修会には何回か参加してきましたが、これまでの蓄積もあり、ようやく本質及び具体的な対応策が分かりました。

イ 大阪市における子ども貧困に関する調査が公表され、さらに具体策についても紹介され

ましたので、これを参考にした議論をしていきたいと思ひます。

(3) 第3講義の森裕之さんの「地方財政の課題と展望」に関しては、次の点が参考になりました。

ア 地方財政の基本について、日本一わかりやすい解説でした。

イ 国の財政運営について、これまでの制度や財源の変化と今後の展望についてわかりやすい内容でした。

ウ 自治体の例では、明石市および飯田市の例をあげて具体的な説明をされ参考になりました。

○以上の点について、さっそく直面する12月議会をはじめ、様々な機会を捉えて具体的な提案をしていきたい。

感想(まとめ)・市政に活かせること

* 研修先の写真等がある場合は添付のこと